

下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価について

基本目標	評価	備考
基本目標① 「魅力的で安定した雇用を創出する」	A	KPI すべてが B 評価以上であり、A 評価が多く、全体として A 評価とする。
基本目標② 「東京圏からの新しいひとの流れをつくる」	B	KPI のうち、C 評価が 2 項目、D 評価が 1 項目であり、他はすべて B 評価以上である。全体としては B 評価とする。
基本目標③ 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」	A	KPI の多くは A 評価であり、C・D 評価が散見されるものの、全体としては A 評価とする。
基本目標④ 「安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる」	A	KPI の多くは A 評価であり、C・D 評価が散見されるものの、全体として A 評価とする。
総合評価	A	3 つの基本目標が A 評価であることから、総合戦略全体として A 評価とする。

個々の KPI の達成度等の評価を積み上げた結果は A 評価とみることができる。進捗状況に遅れがみられる KPI もあることから、引き続きその達成に向けた取組を推進する必要がある。

なお、A 評価ではあるものの、目指す状態に向けて進んでいるかどうか評価するための数値目標や KPI の再検証は必要と考えられる。

基本目標① 「魅力的で安定した雇用を創出する」

基本目標①の「魅力的で安定した雇用を創出する」については、数値目標の「生産年齢人口の割合」は減少傾向で推移しているものの、目標年度の61.8%を上回ることが見込まれ、一定の成果を上げている。

KPIは、各施策ともB以上（目標年度に対する進捗が80%以上）であり、基本目標全体として概ね良好な進捗状況といえる。2項目ともA評価であり、**基本目標全体としてもA評価**とする。

数値目標である「生産年齢人口の割合」については、土地区画整理事業による宅地供給の寄与も想定され、産業振興による効果はKPIの状況を見ても考えにくい。雇用の創出には企業誘致や起業が不可欠であり、これらのより一層の取組が課題である。従業者数を指標として検討したい。

【数値目標】

数値目標	基準値	実績値				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
生産年齢人口の割合	63.9% (H27年における推計)	63.7%	63.4%	62.9%	62.7%	
【数値目標の説明】 少子高齢化が進行し、また市の人口が減少すると予測される中において、人口ビジョンの将来展望が示す生産年齢人口割合の維持を図る。	目標値	【平成31年3月末日】 (15歳以上65歳未満人口 37,581人) ÷ (下野市総人口 59,981人) = 62.7%				
	61.8%	※栃木県毎月人口調査報告書（平成30年10月1日現在の数値）によると、栃木県全体では59.7%であり、下野市（62.3%）は県内4位である。				

KPIについては、進捗率をパーセントで表した値を平均した「進捗率の平均」で各施策ともA評価、KPIごとの達成度の平均でも**A評価**である。

「(ア) 商工業による躍進するまちづくり」は、「No2 空き店舗奨励金等活用件数」や「No4. 雇用奨励金活用件数」など9項目中5項目で100%以上の進捗率であり、全体として**A評価**とする。

「(イ) 地域の特性を活かした農業・農村づくり」は、「No10. 新メニューの提供数」や「No15. 新規就農者数」など9項目中6項目で100%以上の進捗率であり、全体として**A評価**とする。

【重要業績評価指標（KPI）】

	進捗率の平均	達成度の平均
(ア) 商工業による躍進するまちづくり	A	A
(イ) 地域の特性を活かした農業・農村づくり	A	A
総合評価	A	A

※**進捗率**とは、実績値÷年度目標値×100で算出したものであり、その平均値（**進捗率の平均**）が100%以上をA、80%以上をB、50%以上をC、50%未満をDとした。

※**達成度**は、個々のKPIごとに進捗率100%以上をA、80%以上をB、50%以上をC、50%未満をDとし、**達成度の平均**は、Aを4、Bを3、Cを2、Dを1と読み替え、その平均値が3.5以上をA、2.5以上をB、1.5以上をC、1.5未満をDとした。

【重要業績評価指標（KPI）の内訳】

（ア）商工業に躍進するまちづくり

No	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値 (平成31年)	年度目標値 (平成30年)	実績値 (平成30年)	進捗率	達成度
1	制度融資新規活用件数	177件	200件	200件	163件	81.5%	B
2	空き店舗奨励金等活用件数	2件	延15件	延12件	延15件	125.0%	A
3	企業交流会・講習会の開催回数	年1回	毎年開催	1回	1回	100.0%	A
4	雇用奨励金活用件数	1件	延20件	延16件	延20件	125.0%	A
5	創業資金利用件数	7件	延20件	延16件	延14件	87.5%	B
6	事業所数	113事業所	120事業所	117事業所	110事業所	94.0%	B
7	ICT講座参加者数	17人	延100人	延80人	延130人	162.5%	A
8	技能検定合格者数	17人	延125人	延100人	延87人	87.0%	B
9	近隣市町等との共催による合同説明会の開催	年1回	毎年開催	1回	2回	200.0%	A
平均						A	A

（イ）地域の特性を活かした農業・農村づくり

No	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値 (平成31年)	年度目標値 (平成30年)	実績値 (平成30年)	進捗率	達成度
10	新メニューの提供数	—	20件	延18件	延30件	166.7%	A
11	生産技術向上等講習会の開催数	—	年間2回	2回	3回	150.0%	A
12	下野市地産地消応援団認定数	47事業所	60事業所	58事業所	52事業所	89.7%	B
13	市内農産物直売所の販売額	8億円	11億円	10億6,000万円	9億3,700万円	88.4%	B
14	地域の担い手となる認定農業者数	280人	310人	304人	293人	96.4%	B
15	新規就農者数	8人	10人	9人	11人	122.2%	A
16	担い手への農地集積率	40%	52%	50%	50%	100.0%	A
17	ほ場整備新規採択地区数	—	新規1地区	— (H29達成)	—	100.0%	達成済み
18	農業水利施設の機能診断・保全計画策定数	7か所	12か所	— (H29達成)	—	100.0%	達成済み
平均						A	A

基本目標② 「東京圏からの新しいひとの流れをつくる」

基本目標②の「東京圏からの新しいひとの流れをつくる」については、数値目標の「転入者数」「東京圏からの転入者数」「観光入込客数」とも目標年度の数値を下回っている。平成30年をみると、「転入者数」は基準値を上回り、「東京圏からの転入者数」は基準値から横ばい、「観光入込客数」は基準値を下回っている。

KPIは、「(ウ) 交流の促進とシティプロモーションの推進」は達成率の平均でA評価となっているほかはすべてB、各施策ともB以上（目標年度に対する進捗が80%以上）であり、基本目標全体として概ね良好な進捗状況といえ、**基本目標全体としてB評価**とする。

転入者数を増やす、観光入込客を増やす、といった目標については、宅地供給や積極的なシティプロモーション活動の効果が出つつあるという状況であり、多面的に施策を継続していく必要がある。ひとの流れをつくるうえで、自治医科大学を一つの資源として活用できないか（市としてできることはないか）、検討課題と考えられる。

【数値目標】

数値目標	基準値	実績値				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
転入者数	2,319人	2,309人	2,276人	2,412人	2,339人	
【数値目標の説明】 合併以来9年間の転入者の平均が2,470人であるのに対し、直近の2年間は2,300人台で推移しているため、毎年度2%の転入者増を目標に、5年後、10%の転入者増を目指す。	目標値 2,550人	平成30年（1月～12月）の転入者数（日本人のみ）は2,339人であった。なお、転出者数（日本人のみ）は2,445人であり、106人の転出超過であった。 【外国人を含めた場合は、転入者数2,586人、転出者数2,575人で11人の転入超過となる。】				
数値目標	基準値	実績値				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
東京圏からの転入者数	468人	479人	443人	455人	468人	
【数値目標の説明】 直近5年間の東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）からの転入者数を勘案し、東京圏からの転入者数を増加させることを目標とする。	目標値 510人	平成30年（1月～12月）の東京圏からの転入者数（日本人のみ）は468人で前年より増加した。なお、転出者数（日本人のみ）は674人であり、206人の転出超過であった。東京圏への転出超過が続いている状態である。				
数値目標	基準値	実績値				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
観光入込客数	252万人	284万人	247万人	236万人	231万人	
【数値目標の説明】 市内観光施設・イベントへの来訪者数（観光庁の観光入込客数）。	目標値 277万人	平成30年（1月～12月）の観光客入込数は231万人で前年比97.9%であった。天平の花まつりは、21万1千人（前年比103.4%）と昨年より伸びたが、道の駅しもつけの入込数が186万5千人（前年比94.6%）と伸び悩んだため、全体では減となった。 【平成30年栃木県観光客入込数推定調査結果（平成30年1月～12月）より】				

KPIについては、進捗率をパーセントで表した値を平均した「進捗率の平均」でも、達成度の平均でもA評価はあるが、全体としては達成度の平均は**B評価**である。

「(ア) 快適に住み続けられる住環境・緑環境・交通環境・水環境づくり」は、13項目中9項目が100%以上、2項目が100%にあとわずか、という状況であり、C評価とD評価が1項目ずつあるものの、全体としては**B評価**とする。

「(イ) 魅力あふれる『観光まちづくり』」は、7項目中4項目がB評価、2項目がA評価であり、唯一「No33. 道の駅しもつけ利用者数」がC評価であった。道の駅しもつけはあと僅かでB評

価となることから、全体としては**B評価**とする。

「(ウ) 交流の促進とシティプロモーションの推進」は、達成済みも含め5項目すべてがA評価であり、全体としても**A評価**とする。

【重要業績評価指標（KPI）】

	進捗率の平均	達成度の平均
(ア)快適に住み続けられる住環境・緑環境・交通環境・水環境づくり	B	B
(イ)魅力あふれる『観光まちづくり』	B	B
(ウ)交流の促進とシティプロモーションの推進	A	A
総合評価	B	B

【重要業績評価指標（KPI）の内訳】

（ア）快適に住み続けられる住環境・緑環境・交通環境・水環境づくり

No	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値 （平成31年）	年度目標値 （平成30年）	実績値 （平成30年）	進捗率	達成度
19	立地適正化計画策定	—	策定	策定完了	策定完了	100.0%	A （達成）
20	土地区画整理事業整備面積	467ha	493ha	482.9ha	477.3ha	98.8%	B
21	地籍調査完了面積	1.72km ²	8.01km ²	7.15km ²	7.49km ²	104.8%	A
22	新規住宅取得者家庭菜園整備及び定住促進住宅新築等補助件数	—	延70件	延50件	延30件	60.0%	C
23	生垣奨励金補助件数	2件	5件	5件	2件	40.0%	D
24	木造住宅耐震診断及び耐震改修・建替補助件数	3件	4件	4件	5件	125.0%	A
25	住民1人当たり都市公園面積	13.54m ²	16.53m ²	13.54m ²	15.65m ²	115.6%	A
26	新規公園整備・供用開始	—	新規1か所	— （H29達成）	—	100.0%	達成済み
27	公園施設長寿命化計画策定	—	策定	— （H29達成）	—	100.0%	達成済み
28	道路改良率	64.0%	65.4%	65.3%	65.4%	100.2%	A
29	道路舗装率	86.3%	87.5%	87.4%	87.4%	100.0%	A
30	上水道普及率	97.0%	97.27%	97.25%	97.25%	100.0%	A
31	下水道普及率	75.4%	79.1%	78.2%	77.1%	98.6%	B
平均						B	B

（イ）魅力あふれる『観光まちづくり』

No	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値 （平成31年）	年度目標値 （平成30年）	実績値 （平成30年）	進捗率	達成度
32	下野市観光協会HPアクセス数	13万2千件	21万件	20万5千件	33万6千件	163.9%	A
33	道の駅しもつけ利用者数	260万人	280万人	276万人	215万人	77.9%	C
34	地産地消イベント開催回数	4回	6回	6回	5回	83.3%	B
35	観光自転車利用者数	632人	2,000人	1,900人	1,639人	86.3%	B
36	オアシスポップ館利用者数	8,396人	9,300人	9,119人	8,492人	93.1%	B
37	下野ブランド認定件数	24件	40件	37件	34件	91.9%	B
38	本場結城紬展示会開催回数	年1回	毎年開催	1回	1回	100.0%	A
平均						B	B

（ウ）交流の促進とシティプロモーションの推進

No	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値 （平成31年）	年度目標値 （平成30年）	実績値 （平成30年）	進捗率	達成度
39	パーソナルロボットイベント参加回数	—	延50回以上	延39回	延42回	107.7%	A
40	都市農村交流施設整備数	—	新規1か所	— （H29達成）	—	100.0%	達成済み
41	体験農園の設置数	1か所	2か所	— （H28達成）	—	100.0%	達成済み
42	農産物加工体験施設の設置数	3か所	4か所	4か所	4か所	100.0%	A
43	体験農園のイベント開催回数	1回	3回	3回	5回	166.7%	A
平均						A	A

基本目標③ 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

基本目標③の「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」については、数値目標の「下野市で今後も子育てをしていきたいと思う保護者の割合」は目標値を上回って推移している。

K P Iは、AとBの評価であり、**基本目標全体としてはA評価**、概ね良好な進捗状況といえる。

結婚・出産・子育ての希望をかなえることについては、「結婚の希望」、「出産の希望」、「子育ての希望」それぞれへの施策の充実が求められる。

子育てへの支援については、「下野市で今後も子育てをしていきたいと思う保護者」が96%台で推移しているなど、子育て支援の取組は一定の成果を上げていると考えられる。

そのベースを維持しつつ、結婚や出産への希望をかなえる施策を推進していく必要がある。社会経済の動向による影響も大きく、市独自に実施できることは限られているが、創意工夫をしていきたい。

【数値目標】

数値目標	基準値	実績値				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
下野市で今後も子育てをしていきたいと思う保護者の割合	95.4%	95.5%	96.9%	96.9%	96.30%	
【数値目標の説明】 乳幼児健康診査のアンケート調査において実施。	目標値	平成30年度も目標値を上回る結果であった。 ※乳幼児健康診査のアンケート調査における「この地域で、今後も子育てをしていきたいですか」という問いに対して「そう思う」もしくは「どちらかといえばそう思う」と回答した割合。				
	96.0%					
数値目標	基準値	実績値				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
合計特殊出生率	1.41	—	—	—	—	
【数値目標の説明】 人口ビジョンの将来展望の短期的目標で示した合計特殊出生率の向上を目指す。	目標値	平成30年の人口動態統計（概数）における合計特殊出生率（厚生労働省） 全国平均1.42 栃木県1.44（全国32位） 【平成29年 全国平均1.43 栃木県1.45（全国34位）】				
	1.60					

K P Iについては、「(ア) 子どもを健やかに産み育てる環境整備」と「(エ) 多様な「出会い」の支援」はともにA評価であり、「(イ) 心身ともに健やかな子どもの育ちを支える取組の推進」はB評価、「(ウ) すべての子育て家庭を応援する体制の充実」は、B評価となっている。全体としては、達成度の平均は**A評価**である。

「(ア) 子どもを健やかに産み育てる環境整備」は、「No48. 保育園・幼稚園等での食育教室実施回数」や「No45. 不妊治療助成件数」など6項目すべてがA評価であり、全体としても**A評価**とする。

「(イ) 心身ともに健やかな子どもの育ちを支える取組の推進」は、3項目中2項目がA評価であり、唯一「No51. 児童館利用者数」がB評価であるもののA評価に近い水準であるが、全体として**B評価**とする。

「(ウ) すべての子育て家庭を応援する体制の充実」は、B評価が多く、A評価が2項目、C・D評価が各1項目であることから、全体として**B評価**とする。

「(エ) 多様な「出会い」の支援」は、2項目すべてがA評価であり、全体として**A評価**とする。

【重要業績評価指標（KPI）】

	進捗率の平均	達成度の平均
(ア)子どもを健やかに産み育てる環境整備	A	A
(イ)心身ともに健やかな子どもの育ちを支える取組の推進	B	A
(ウ)すべての子育て家庭を応援する体制の充実	B	B
(エ)多様な「出会い」の支援	A	A
総合評価	A	A

【重要業績評価指標（KPI）の内訳】

（ア）子どもを健やかに産み育てる環境整備

No	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値 （平成31年）	年度目標値 （平成30年）	実績値 （平成30年）	進捗率	達成度
44	両親学級参加率	45.0%	60.0%	58.0%	59.3%	102.2%	A
45	不妊治療助成件数	100件	110件	108件	119件	110.2%	A
46	乳幼児健康診査対象児の状況把握の割合	100%	100%	100%	100%	100.0%	A
47	任意予防接種助成制度新規事業数	—	新規2事業	1	1事業開始	100.0%	A
48	保育園・幼稚園等での食育教室実施回数	8か所	10か所	10か所	17か所	170.0%	A
49	こんにちは赤ちゃん全戸訪問事業・把握率	100%	100%	100%	100%	100.0%	A
平均						A	A

（イ）心身ともに健やかな子どもの育ちを支える取組の推進

50	思春期講座開催小中学校数	—	15小中学校	15小中学校	15小中学校	100.0%	A
51	児童館利用者数	30,061人	31,500人	31,500人	30,046人	95.4%	B
52	両親学級参加率（再掲：44）	45.0%	60.0%	58.0%	59.3%	102.2%	A
平均						B	A

（ウ）すべての子育て家庭を応援する体制の充実

53	放課後児童クラブ実施箇所数	13か所	14か所	14か所	13か所	92.9%	B
54	待機児童数	1人	0人	0人	3人	80.0%	B
55	認定こども園数	4か所	6か所	6か所	5か所	83.3%	B
56	休日保育事業実施園数	1か所	2か所	2か所	1か所	50.0%	C
57	夜間保育事業実施園数	—	1か所	—	—	—	—
58	乳児保育事業実施園数	12か所	13か所	13か所	13か所	100.0%	A
59	児童館の整備箇所数	—	1か所	—	—	—	—
60	子育て応援HP「ママフレ」アクセス数	22,400件	24,600件	24,160件	9,896件	41.0%	D
61	利用者支援事業実施箇所数	—	1か所	1か所	2か所	200.0%	A
62	職場での男女平等について、募集や採用において「平等になっている」と回答する人の割合	51.9%	57.0%	—	—	—	—
平均						B	B

（エ）多様な「出会い」の支援

No	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値 （平成31年）	年度目標値 （平成30年）	実績値 （平成30年）	進捗率	達成度
63	婚活に関するスキルアップ事業数	—	1事業	1事業	1事業	100.0%	A
64	婚活支援事業数	1事業	3事業	3事業	3事業	100.0%	A
平均						A	A

基本目標④ 「安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる」

基本目標④の「安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる」については、数値目標の「幸せだと感じている市民の割合」、「住みやすいと感じている市民の割合」は、いずれも上昇したもののわずかに目標には及ばなかったが、着実な進捗を示していると考えられる。

K P Iは、AとBの評価であり、**基本目標全体としてはA評価**であり、良好な進捗状況といえる。

幸せを実感できるまちとしていくためには、ニーズに合わせて個々の施策を実施するだけでなく、市民の生活は“総合的”であることを踏まえ、市民一人一人の自己実現をトータルに支援する仕組みづくりが必要である。

これから結婚・出産をしていく世代、子育て真っ最中の世代、子育てを終えた世代、高齢期にさしかかる世代、高齢者世代など、多様なライフステージに応じたきめ細かいサービスを実施することにより、“幸せを実感できるまち”が実現できると考えられる。

市民が“幸せ”と感じられるための要素を明らかにし、それを実現するための支援策を明らかにしていくことが求められている。

【数値目標】

数値目標	基準値	実績値				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
幸せだと感じている市民の割合	75.0%	—	—	—	—	77.0%
【数値目標の説明】 市民意識調査における「幸福感」の項目で、幸せだと感じていると回答した人の割合。	目標値	平成31年度に実施した市民意識調査では、「幸せだと感じている」と回答した割合は77.0%であった。前回より2ポイント上昇したものの目標には1ポイント及ばなかった。				
	78.0%					
数値目標	基準値	実績値				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
住みやすいと感じる市民の割合	84.0%	—	—	—	—	86.7%
【数値目標の説明】 市民意識調査における「下野市について」の項目で、住みやすい・どちらかといえば住みやすいと回答した人の割合。	目標値	平成31年度に実施した市民意識調査では、「住みやすい」が46.7%、「どちらかといえば住みやすい」が40.0%、合わせて86.7%であった。前回より2.7ポイント上昇したものの目標には0.3ポイント及ばなかった。				
	87.0%					

K P Iについては、各施策ともA評価とB評価であり、「進捗率の平均」による評価ではAが多くなっている。全体としては、達成度の平均**A評価**とする。

「(ア) いきいき暮らせる健康づくり」は、A評価よりB評価が多いため、**B評価**とする。

「(イ) 高齢者が元気で暮らせる体制づくり」は、すべてA評価であり、**A評価**とする。

「(ウ) 障がい者(児)とともに生きる環境づくり」は、A評価2項目B評価1項目であり、**A評価**とする。

「(エ) 誰もが安心して暮らせるまちづくり」は、A評価が多くB評価は1項目のみであり、**A評価**とする。

「(オ) 将来を担う人づくり」は、A評価よりB評価が多いため、**B評価**とする。

「(カ) 生涯にわたり学べる機会づくり」は、A・B・C評価が各1項目ずつであり、全体としては**B評価**とする。

「(キ) 市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり」は、A評価とB評価に分かれているが全体として**A評価**とする。

「(ク) 文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり」は、すべてA評価であり、**A評価**とする。

「(ケ) 安全・安心な生活環境づくり」は、A評価とC評価に分かれており、**B評価**とする。

「(コ) 快適に暮らせる環境づくり」は、A・B・C評価に分かれており、**B評価**とする。

「(サ) 協働のまちづくりの体制づくり」は、2項目ともA評価であり、**A評価**とする。

「(シ) 健全な行財政運営の仕組づくり」は、C評価は1項目のみであり、全体として**A評価**とする。

【重要業績評価指標 (KPI)】

	進捗率の平均	達成度の平均
(ア)いきいき暮らせる健康づくり	B	B
(イ)高齢者が元気で暮らせる体制づくり	A	A
(ウ)障がい者(児)とともに生きる環境づくり	A	A
(エ)誰もが安心して暮らせるまちづくり	A	A
(オ)将来を担う人づくり	B	A
(カ)生涯にわたり学べる機会づくり	B	B
(キ)市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり	B	A
(ク)文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり	A	A
(ケ)安全・安心な生活環境づくり	B	B
(コ)快適に暮らせる環境づくり	C	B
(サ)協働のまちづくりの体制づくり	A	A
(シ)健全な行財政運営の仕組づくり	B	A
総合評価	B	A

【重要業績評価指標（KPI）の内訳】

（ア）いきいき暮らせる健康づくり

No	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値 （平成31年）	年度目標値 （平成30年）	実績値 （平成30年）	進捗率	達成度
65	がん検診の受診率（子宮頸がんを除く）	35.7%	50%以上 （乳がん60%以上）	47.0%	42.7%	90.9%	B
66	健康づくり施設利用者数	25万8千人	28万8千人	28万人	28万8千人	102.9%	A
67	健康づくりへの取組の満足度	4	5	—	4	80.0%	B
平均						B	B

※ No67 は令和元年7月に実施した市民意識調査結果

（イ）高齢者が元気で暮らせる体制づくり

No	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値 （平成31年）	年度目標値 （平成30年）	実績値 （平成30年）	進捗率	達成度
68	地域ふれあいサロンの設置数	14か所	34か所	28か所	40か所	142.9%	A
69	認知症地域支援推進員の配置数	1か所	4か所	4か所	4か所	100.0%	A
70	認知症サポーター数	2,085人	7,800人	延7,000人	延7,881人	112.6%	A
71	高齢者福祉の取組の満足度	3	4	—	4	100.0%	A
平均						A	A

※ No71 は令和元年7月に実施した市民意識調査結果

（ウ）障がい者（児）とともに生きる環境づくり

72	指定特定相談支援事業所数	5か所	7か所	7か所	8か所	114.3%	A
73	就労系サービス利用者数	93人/月	170人/月	158人/月	142人/月	89.9%	B
74	障がい者福祉の取組の満足度	3	4	—	4	100.0%	A
平均						A	A

※ No74 は令和元年7月に実施した市民意識調査結果

（エ）誰もが安心して暮らせるまちづくり

No	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値 （平成31年）	年度目標値 （平成30年）	実績値 （平成30年）	進捗率	達成度
75	民生委員・児童委員の活動件数	4,800件	5,500件	5,400件	5,292件	98.0%	B
76	低所得者への自立に向けた支援（自立促進）数	5世帯	15世帯	13世帯	14世帯	107.7%	A
77	人間ドック受診率	4.0%	5.0%	4.6%	4.6%	100.0%	A
78	特定健康診査受診率	39.0%	50.0%	47.0%	50.8%	108.1%	A
79	地域福祉の取組の満足度	3	4	—	4	100.0%	A
平均						A	A

※ No79 は令和元年7月に実施した市民意識調査結果

(オ) 将来を担う人づくり

No	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (平成31年)	年度目標値 (平成30年)	実績値 (平成30年)	進捗率	達成度
80	学ぶ意欲と自己有用感の評価点 (小学校)	3.20	3.25	3.24	3.23	99.7%	B
81	学ぶ意欲と自己有用感の評価点 (中学校)	3.01	3.10	3.07	3.07	100.0%	A
82	小中学校の教育の取組の満足度	4	5	—	4	80.0%	B
83	小中学校校舎への空調設備設置数	—	16校	— (H28達成)	—	100.0%	達成済み
平均						B	A

※ No82 は令和元年7月に実施した市民意識調査結果

(カ) 生涯にわたり学べる機会づくり

No	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (平成31年)	年度目標値 (平成30年)	実績値 (平成30年)	進捗率	達成度
84	講座・講演会の年間受講者数	8,242人	8,600人	8,500人	9,350人	110.0%	A
85	図書館の市民1人当たりの年間貸出冊数	6.23冊	6.9冊	6.7冊	5.8冊	86.6%	B
86	公民館の利用者数	14万7千人	13万5,000人	13万5,000人	10万3,291人	76.5%	C
平均						B	B

(キ) 市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり

No	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (平成31年)	年度目標値 (平成30年)	実績値 (平成30年)	進捗率	達成度
87	スポーツ活動の実施率	51.7%	53.0%	—	—	—	—
88	スポーツ施設の利用者数	62万1千人	64万人	63万7千人	63万7千人	100.0%	A
89	大松山運動公園の整備	—	整備	—	—	—	—
90	耐震強化に取り組む体育施設数	—	6施設	5施設	4施設	80.0%	B
平均						B	A

(ク) 文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり

91	グリムの森・グリムの館の来園者数	9万人	9万1,800人	9万1,300人	15万7,523人	172.5%	A
92	下野薬師寺歴史館・しもつけ風土記の丘資料館ボランティア会員数	40人	50人	48人	75人	156.3%	A
93	国内交流協会会員数	64人	67人	66人	72人	109.1%	A
94	国際交流協会会員数	375人	390人	387人	426人	110.1%	A
95	国指定史跡地の整備進捗率	61.50%	63.0%	—	65.5%	104.0%	—
96	しもつけ風土記の丘資料館入館者数	1万5千人	1万8千人	1万7千5百人	2万1千927人	125.3%	A
平均						A	A

(ケ) 安全・安心な生活環境づくり

No	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (平成31年)	年度目標値 (平成30年)	実績値 (平成30年)	進捗率	達成度
97	自主防災組織設置数	8組織	15組織	14組織	8組織	57.1%	C
98	消費生活に伴う相談及び問い合わせ件数	280件	300件	295件	444件	150.5%	A
99	防犯の取組の満足度	3	4	—	4	100.0%	A
100	消費者保護の取組の満足度	3	4	—	3	75.0%	C
101	交通安全対策の取組の満足度	3	4	—	3	75.0%	C
平均						B	B

※ No99、100、101 は令和元年7月に実施した市民意識調査結果

(コ) 快適に暮らせる環境づくり

102	市民1人1日あたりの資源物以外のごみの排出量	527g/人/日	504g/人/日	509g/人/日	508g/人/日	100.2%	A
103	市民と企業・行政の協働による環境保全活動の実施	1事業	47事業	47事業	30事業	63.8%	C
104	公共交通の整備の取組の満足度	3	4	—	2	50.0%	C
105	環境対策の取組の満足度	4	5	—	4	80.0%	B
106	公害対策の取組の満足度	4	5	—	4	80.0%	B
平均						C	B

※ No104、105、106 は令和元年7月に実施した市民意識調査結果

(サ) 協働のまちづくりの体制づくり

No	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (平成31年)	年度目標値 (平成30年)	実績値 (平成30年)	進捗率	達成度
107	市民活動補助事業の団体数	10団体	13団体	12団体	15団体	125.0%	A
108	人権教育講演会の受講者数	100名	140名	130名	230名	176.9%	A
109	社会全体で「男女平等である」と回答する人の割合	12.2%	18.0%	—	—	—	—
平均						A	A

(シ) 健全な行財政運営の仕組づくり

No	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (平成31年)	年度目標値 (平成30年)	実績値 (平成30年)	進捗率	達成度
110	公共施設等総合管理計画策定	—	策定	— (H28達成)	—	100.0%	達成済み
111	市ホームページアクセス数	110万件	106万件	104万件	108万件	103.8%	A
112	共同連携事業数	21事業	66事業	65事業	71事業	109.2%	A
113	他市町との連携の取組の満足度	3	4	—	3	75.0%	C
平均						B	A

※ No113 は令和元年7月に実施した市民意識調査結果